

総合型選抜のポイント

日本体育大学 体育学部 体育学科/健康学科

掲載している内容は、過去に実施された試験について、受験生からの聞き取り調査をもとにまとめたものです。ポイントは、授業を担当する講師が指導上、重視する点を簡潔にまとめたものです。入試内容は、変更になる可能性があります。本年度の入試については、入試要項等でご確認ください。

◆出願書類の書式とポイント

●書式

- ・3つの項目について横書きで記述
- ①出願学科の志望理由 ②入学後の計画 ③高校時代に取り組んだ活動
- ・字数制限はないが罫線各8行、合計で800字程度になる

日本体育大学
令和6年度 総合型選抜 トップアスリート（競技実編）型 10月・2月
総合型選抜 課題探究型
総合型選抜 プレゼンテーション型

所定用紙 2
大学記入欄

エントリーシート

フリガナ	出願学科（コース）
氏名	

このエントリーシートは面接（プレゼンテーション）時の参考資料として使用します。

1）出願学科（コース）の志望理由について記入してください。

2）本学入学後の計画（学修や正課外活動などに対する意欲や目標等）について記入してください。

3）高校時代に取り組んだ活動（部活動、資格取得、ボランティア活動等）について記入してください。

●ポイント

この内容をもとにして2分間の自己PRを行い、さらに10分間の面接が行われる。1つ1つの項目において、深掘されても明確に具体的に答えられるように、書類作成の段階で十分な資料集めを行い、論理構築をするといった準備が必要になる。

◆面接試験の形式とポイント

●形式 個人面接 一人約 10 分間

2 分間の自己 PR に続き、以下のような質問があった。

【体育学科】聞き取り抜粋 5 選

- ・他大学にはない日体大の魅力を教えて下さい。
- ・将来の理想像に近づくためにどのような大学生活を送りますか。
- ・体育富強之基についてあなたの考えを教えて下さい。
- ・甲子園出場まであと一歩だったけど、何が足りませんでしたか。
- ・トップアスリート型でもよさそうな成績だけど、なぜ課題探究型（小論文方式に名称変更）で受験したのか。

【健康学科】聞き取り抜粋 5 選

- ・保健体育教諭を目指すのになぜ健康学科を志望したのか。
- ・養護教諭を目指せる大学は他にもあるがなぜ日体大なのか。
- ・社会福祉士を目指すきっかけ、職務内容。
- ・ソーシャルサポート領域のどの授業が将来に活かせるのか。
- ・心身の健康についてどのように考えますか。

●ポイント

ホームページ・入試要項・シラバスなどを参照し、体育学科/健康学科の詳しい内容について答えられるようにしておくこと。面接官の質問を落ち着いて聞き、的外れな回答にならないように注意すること。暗記した回答文を棒読みするのではなく、自分の考えが正確に伝わるように大きな声でゆっくり話すこと。

◆小論文（資料分析型）の出題とポイント 体育学科

【2024 年度出題】試験時間 60 分

課題

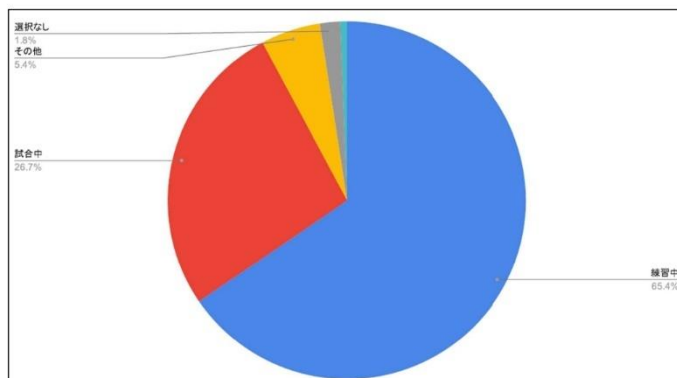
「運動は心身の健康に効果があるが、けがや病気を引き起こすこともある」といわれています。競技者が安心してスポーツに取り組めるようにするためには、競技の安全性を確保しなければなりません。しかしながら、スポーツ現場では毎年一定数の重大事故が発生しており、これに対応する十分な準備がされていない団体もあるのが現状です。

大学スポーツ協会（UNIVAS）では、日本の大学スポーツにおける事故・けがの状況について取りまとめを行っており、2022 年 3 月に発行された報告書では、64 クラブを対象に調査を行い、816 件のスポーツ外傷・障害の発生が報告されました。

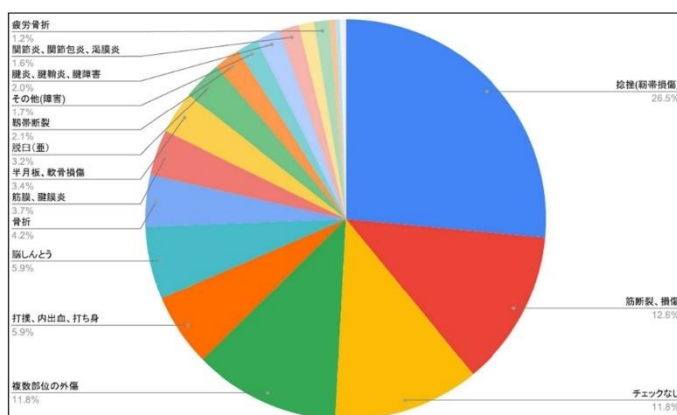
報告書には、＜図 1＞及び＜図 2＞のとおり発生状況の割合、外傷・障害種類の割合などが示されています。

問. ＜図 1＞及び＜図 2＞の特徴を踏まえ、スポーツ現場においてどのような取り組みを行うことで、安全で安心な競技活動の実施が可能か。あなたの意見も含めて具体的に説明しなさい。

（600 字以上 800 字以内。横書き）



＜図 1＞2021 年度発生状況の割合



＜図 2＞2021 年度外傷・障害種類の割合

出典：「UNIVAS 大学運動部活動におけるスポーツ外傷・障害の傾向 2022 年 3 月」
（一般社団法人大学スポーツ協会）

<https://img.univas.jp/uploads/2022/03/a4c968ca850328be8f194104e39025f6.pdf>

ポイント

「図1・図2の特徴を踏まえ」とあるので、必ず「発生状況」と「外傷・障害の種類の割合」に触れること。
安全安心な取り組みは、保健体育教科書に記述があるので、それをもとに考えをまとめられるようにすることが基本となる。さらに、他者と差をつけるため、大学スポーツにおける現状については、出典となっている「大学スポーツ協会」の資料をはじめ、関連する分野の情報を仕入れて整理し、自分の意見を含めて表現できるように準備すること。

◆小論文（資料分析型）の出題とポイント 健康学科

【2024 年度出題】試験時間 60 分

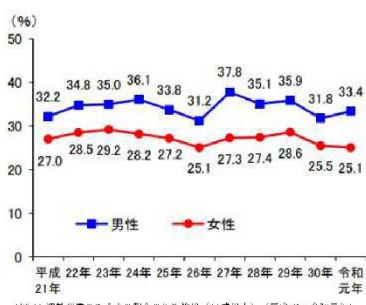
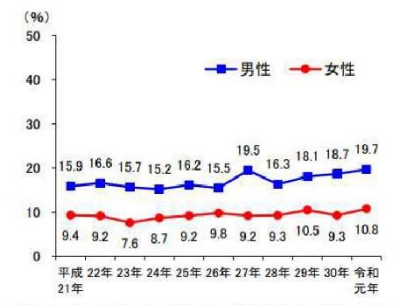
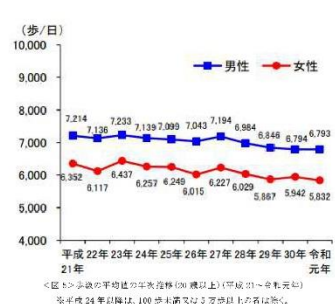
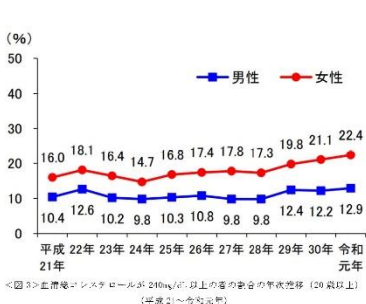
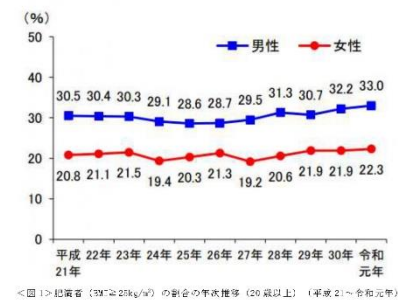
課題

日本人の主要な死亡原因である「がん」、「心臓病」、「脳卒中」は、生活習慣病である糖尿病、脂質異常症、高血圧症などに関連している。

資料は<図 1>肥満者の割合、<図 2>糖尿病が強く疑われる者の割合、<図 3>血清総コレステロールが 240 mg/dL 以上の者の割合、<図 4>運動習慣のある者の割合、<図 5>歩数の平均値の年次推移を示したものである。これらの図を確認しながら、以下の問いに答えなさい。

問. 生涯を通して健康に過ごすためには、運動習慣を持つことが大切である。しかし、大人になってから運動を習慣づけて行うことは難しい。したがって、比較的運動しやすい環境にある高校生までに運動習慣を身につけておくことが必要である。そのためには、ヘルスプロモーションの考え方が重要である。そこで、資料から現代社会における運動習慣と健康に関する問題を抽出し、それらを解決するための対策について、ヘルスプロモーションを説明した上で述べなさい。

(600 字以上 800 字以内。横書き)



出典：「令和元年 国民健康・栄養調査結果の概要」（厚生労働省）
<https://www.cabn.go.jp/contents/10900000/000087162.pdf>

●ポイント

「健康」を考える上で、WHO（世界保健機構）の示す「ヘルスプロモーション」は重要な考え方である。保健体育教科書においても、大きく取り上げられているので、まずは基本的な理解を深めておくこと。日本が直面する健康課題については、厚生労働省はじめ、さまざまな機関が研究・報告書を出しているの、関心を持って情報収集し、ある程度出題を予想できるようにしておく。特に、高齢者・障がい者・家庭・子どもについては、要点を理解した上で表現できるように準備すること。

◆実技方式のポイント 体育学科

- ・書類審査 ※2025 年度から出願要件が評定平均値 3.5 以上となった。
- ・実技試験（50m 走、立ち 5 段跳び、メディシンボール投げ、3 コンドリル）
- ・個人面接（10 分）

【各種目歴代最高記録】

	50m 走	立ち 5 段跳び	メディシンボール投げ	3 コンドリル
男子	-	1540cm	1523cm	6.44 秒
女子	-	1160cm	954cm	7.36 秒

※50m 走は 2025 年度入試より実施のため、記録データはありません。

●ポイント

昨年まで、「総合点または種目ごとの上位者」を合格対象者としていたが、2025 年度は、「総合点の上位者」を合格とすることになった。つまり、1 つだけ秀でていても合格は難しく、すべての種目で高いレベルにいたる必要がある。面接も、集団面接から個人面接へと変更になったが、こちらは小論文方式と同じである。

◆プレゼンテーション方式の形式とポイント 体育学科

●課題

『本学体育学科の学生としてどのような大学生活を送りたいですか。また、どのような能力を身につけ、将来どのような人として活躍したいですか。所定用紙を用いて自由に表現してください。』

●プレゼンテーション資料（出願時に提出）

- ・所定用紙を A4 用紙に印刷、手書きで作成し、原本 1 部、コピー 3 部を提出。
- ・カラーで作成した場合、カラーでコピー。
- ・筆記用具の指定はなし。

●二次選考（プレゼンテーション）の実施方法

- ・ 出願時に提出したプレゼンテーション資料は、大学側で試験室内のスクリーンに表示。
- ・ 試験室入室後、試験監督の指示により口頭でプレゼンテーション（10分）を行う。
- ・ 発表原稿が必要な場合は当日持参する。
- ・ プレゼンテーションの終了1分前と終了時にベルで告知。（終了1分前：1 鈴 終了時：2 鈴）
- ・ プレゼンテーションの後、質疑応答（10分）を行う。

●ポイント

自分の将来像を明確にすることが何より重要である。学年ごとに身につける能力や手段を記述すると、4年間の過ごし方がイメージしやすい。2次試験の質疑応答については、プレゼンテーション内容についての質問に加えて一般的な面接の質問が混ざる。自己アピールシート作成の際に、向き合った自分の将来像、大学における具体的な学びを応用してプレゼンテーションを組み立てよう。

◆プレゼンテーション方式の形式とポイント 健康学科

●課題

『あなたが関心を持っている現代における健康課題を理由とともに教えてください。そして、その健康課題を改善するための学校、家庭、地域での取り組みをプレゼンテーションしてください。』

●プレゼンテーション資料（出願時に提出）

Microsoft Power Point で作成したスライドを印刷したものを3部（データ形式：Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013/2016）

- ・スライドのサイズは「標準（4:3）」で作成。
- ・A4 用紙にフルページサイズ（1 ページに1スライド）で印刷。
- ・カラーで作成した場合はカラーで印刷。
- ・1ページ目に出願学科・氏名・タイトルを記載した表紙を作成。
- ・1ページ目（表紙）を含むスライド枚数は、10枚以内。
- ・図や写真の挿入は可能だが、他の文献や書物等から引用する場合は、出典を明記。
- ・スライドに動画やアニメーションは使用不可。
- ・作成した資料は左上をホチキスで留めて提出。

●ポイント

エントリーシートに書いた内容をベースにするとまとめやすい。健康課題に対し学校・家庭・地域の側面から改善策を提示するので、テーマ選びは具体例を示せるように慎重におこなう必要があった。日本の健康課題や改善策は、小論文（資料分析型）の学習と連動するので、総合型選抜Iでの準備が大きな力になる。